

令和7年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立安方中学校

Ⅰ 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・漢字や語彙の学習においてプリントやワークブックを用い、継続的な家庭学習の習慣を醸成することで学習の下地を作り出すことができた。
- ・主体的に学びに向かう態度を育むための学習課題の設定とその適切な評価を行い、学ぶ意欲を喚起することができた。

(2) 課題

- ・言語文化に関する分野に課題がある。小テスト等を取り入れながら、知識の定着を図る。
- ・文章を読むことの領域で、精読が求められるような問題の正答率に伸びしろがある。日頃の授業でも内容を精査しながら読む習慣を確立する。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率(経年比較)

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第1学年	正答率が標準スコアよりも上回っている。		
第2学年	正答率が標準スコアよりも下回っている。	正答率が標準スコアよりも下回っている。 (第1学年時)	
第3学年	正答率が標準スコアと同程度である。	正答率が標準スコアよりも下回っている。 (第2学年時)	正答率が標準スコアよりも上回っている。 (第1学年時)

(2) 分析(観点別)

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
校内平均正答率は目標値を上回ったが、区平均正答率、全国平均正答率はともに下回っている。	校内平均正答率は目標値と全国平均正答率を上回ったが、区平均正答率を下回っている。	

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
校内平均正答率は目標値を達成しているが、区平均正答率、全国平均正答率はともに下回っている。	校内平均正答率は目標値を上回ったが、区平均正答率、全国平均正答率はともに下回っている。	

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
校内平均正答率は目標値と全国平均正答率を上回ったが、区平均正答率を下回っている。	校内平均正答率が目標値、区平均正答率、全国平均正答率においてわずかに下回っている。	

3 授業改善のポイント(観点別)

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
新出の語句の意味を調べるなど語彙力を高める活動を授業内で行う。 漢字の学習をワークブックで行う。進捗状況を都度を確認し継続的な家庭学習の習慣を身に付けさせる。	ICT 機器等も活用し、書くことの活動を行い、考える力を身に付けさせる。また、グループでの話合いや発表などの多様な活動を取り入れながら、自分の思いや考えを広げ、伝え合う力を養う。	各授業や单元ごとに振り返りを行い、自らの学習について理解し、調整することができるようにする。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
新出の語句の意味を調べるなど語彙力を高める活動を授業内で行う。 漢字の学習をワークブックで行う。進捗状況を都度を確認し継続的な家庭学習の習慣を身に付けさせる。	ICT 機器等も活用し、書くことの活動を行い、考える力を身に付けさせる。また、グループでの話合いや発表などの多様な活動を取り入れながら、自分の思いや考えを広げ、伝え合う力を養う。	各授業や单元ごとに振り返りを行い、自らの学習について理解し、調整することができるようにする。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
新出の語句の意味を調べるなど語彙力を高める活動を授業内で行う。 漢字の学習をワークブックで行う。進捗状況を都度を確認し継続的な家庭学習の習慣を身に付けさせる。	ICT 機器等も活用し、書くことの活動を行い、考える力を身に付けさせる。また、グループでの話合いや発表などの多様な活動を取り入れながら、自分の思いや考えを広げ、伝え合う力を養う。	各授業や单元ごとに振り返りを行い、自らの学習について理解し、調整することができるようにする。